

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき  
高梁川流域の  
指定文化財(史跡)



ばしょ  
**場所**  
かさおかし かさおか

・笠岡市笠岡



じだい  
**時代**

えどじだい

・江戸時代



していねんがつび  
**指定年月日**

しょうわ

・昭和49(1974)年  
7月30日



しゆう  
**所有**

いどくじ

・威徳寺



## だいかん いどへいざえもんのはか 代官 井戸平左衛門の墓

新高総早倉矢井浅里  
見梁社島敷掛原口庄  
市市市町市町市市町

笠  
岡  
市



### この史跡について

いどへいざえもんまさあさら だいかん よ めいたいかん さようほう さい げんざい  
井戸平左衛門正明は、「いも代官」と呼ばれた名代官です。享保16(1731)年、60歳にして現在  
しまねけん おおもり だいかん よくねん かさおかだいかん けんむ とうじにしにほんいつたい  
の島根県の大森の代官となり、翌年から笠岡代官を兼務しました。その当時、西日本一帯はウン  
だいはっせい みぞう だいきさん はっせい りょうみん すく ばくふ きよかま  
カの大発生によって未曾有の大飢饉が発生していました。領民を救うために幕府の許可を得た  
ねんぐまい あた とち さいばい どうにゅう ききん  
すぐに年貢米を分け与えました。さらに、やせ土地でもとれるサツマイモの栽培を導入して、飢饉  
をしのぎました。

すぐ せさく いどだいかん しはいち がしあ  
これらの優れた施策によって、井戸代官の支配地からは、ひとりの餓死者も出さなかったと  
つた きょうほう かさおか びょうし はか かさおか いとくじ  
伝えられます。享保18(1733)年に笠岡で病死しました。墓は笠岡の威徳寺にあります。